

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66 - 1379
施設名	杉並の家けやき保育園
施設所在地	杉並区浜田山1-33-1
法人名	社会福祉法人けいわ会

file:///C:/Users/keiwa/Downloads/2025%E5%B9%B4%E

1. 活動のテーマ

<テーマ>

乳児期の心身の健康を育む運動遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

保育要領の子どもの10の姿にある『健康な心と体』について着目し、乳児期からの健康で怪我の少ない体作りをねらいとして、今回のテーマに継続して設定した。

2. 活動スケジュール

幼児クラスで行っている体操教室の講師に、月2回乳児の体操教室の時間を設けてもらい、各クラスの発達や様子に合わせた環境設定をして行った。また、体操教室の時間だけでなく、講師から学んだ環境設定や配慮の仕方を元に、日々の保育の中でも取り入れていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

楽しみながら体を動かせるようにまた様々な体を動かす経験が出来るよう、クッション性のある跳び箱や太鼓橋、はしご、巧技台、マットを用意し、その都度、環境設定を変えて行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

月2回の講師を招いた乳児体操教室の中で、簡単な体遊びや様々な遊具を組み合わせた運動遊びのサーキット遊びを行った。また、体操教室で学んだ環境設定を元に、日々の保育に取り入れて運動遊びの機会を作った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

当初のサーキット遊びでは巧技台からのジャンプやはしごの昇降等を怖がり、保育者の手を握り援助を求める姿が見られたが、繰り返し行う中で1人で出来るようになり、「できた」と喜ぶ姿や「みて」と自分で出来ることの喜びを保護者と共有する場面が多く見られた。お気に入りの場所を何度も取り組み、繰り返し体を動かす事を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を通して子どもたちの心身の成長を感じることが出来た。回数を重ねるごとに目に見えてバランス感覚や体幹が養われ、出来る活動内容も増えていった。繰り返し楽しむことと、新しく発展して行くこともあり、子どもたちが楽しんで意欲的に取り組んでいたのがとても印象的だった。これからも継続して楽しみながら、サーキット遊びや運動遊びに取り組み、子ども達の成長を促していきたい。